



CSR報告書 2023

株式会社デンソートリム
DENSO TRIM CORPORATION

目次

1. 会社概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. トピックス	
2. 社長メッセージ	4
3. 製品概要	5
3-1. 二輪製品	
3-2. 四輪製品	
4. デンソートリムのCSR	7
4-1. 基本的な考え方	
4-2. デンソープラステナビリティ方針	
4-3. デンソープラス社員行動指針	
4-4. デンソープラススピリット	
5. 社会性報告	9
5-1. 社員とともに	
5-2. 地域・社会とともに	
6. 環境報告	21
6-1. デンソートリム環境方針	
6-2. 環境推進体制	
6-3. 環境行動計画	
6-4. 法規順守状況	
6-5. 生産環境負荷削減	

本社敷地全景



1. 会社概要

1-1. 会社概要

社 名 株式会社デンソートリム
所 在 地 〈本社/本社工場〉
〒510-1222
みえけん みえぐん こものちよう おおごはら あかさか
三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460
〈大安工場〉
〒511-0296
みえけん いなべし だいあんちようもんぜん
三重県いなべ市大安町門前1530
(株式会社デンソー 大安製作所内)

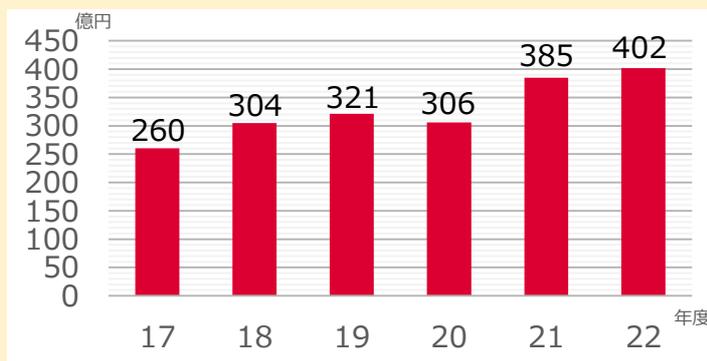
設 立 1990年3月30日
操 業 1991年11月2日
代 表 取締役社長 水野 功
資 本 金 3億1千万円
従 業 員 数 1251名(2023年3月末現在)
事 業 内 容

- ・二輪車用発電装置
- ・電子式エンジン制御装置
- ・ハイブリッド車用電池監視装置
- ・デジタルキーアンテナ
- ・燃料ポンプ制御装置
- ・灯火制御装置
- ・排気センサ/排気温センサ
- ・PTC素子応用製品
- ・EGRガス温度センサ
- ・クランク角センサ

などの製造

※詳細はP5,6の
製品概要をご覧ください

売 上 高



1-2. トピックス

関連するSDGs



(1) 三重県SDGsパートナー登録 **TOPIC**

2022年8月に「三重県SDGs推進パートナー登録制度」※1に登録されました。推進パートナーの名に恥じぬよう、今後の取り組みを行ってまいります。

※1:三重県内における企業や団体等のSDGsに向けた取組を見える化し、県が後押しすることで、持続可能な社会の実現に向けた取組を広げていくことを目的とした制度です。



登録証

(2) 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン協賛 **TOPIC**

2022年10月16日に菰野町の最大規模のイベントである「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」にデンソートリムのブースを出店しました。交通安全ドリルの配布、オリジナルの交通安全のぼりを掲示し、ブースを訪れた方へ交通安全の呼びかけを行いました。更に、オリジナルのマスクケース、マグネット、会社ロゴ入りボールペン、バルーンアートを配布しブースを訪れてくださった方には大変ご好評いただきました。マラソンには水野社長をはじめ、多くの従業員が参加し、無事完走をすることができました。



ブース出展運営スタッフ一同



水野社長完走の様子



当社代表として出場したランナー

(3) デンソー社長賞受賞 **TOPIC**

2022年10月に安全・品質・体質の定量評価、戦略・仕事の進め方・人/組織の定性評価の観点から、優秀な成果を上げた組織として2021年度デンソー社長賞「事業連携会社部門 特別賞」を受賞しました。これを記念して、「もみじ」の植樹を実施しました。もみじの花言葉は「調和」「美しい変化」「大切な思い出」などがございます。



記念植樹の様子 (3月)

2. 社長メッセージ

デンソートリムはデンソーグループの一員として、二輪車用エンジン制御製品・四輪車用エンジン制御製品・電子製品の開発・設計・生産といった事業を担っており、多岐に渡るバイク、自動車を支えています。

デンソーグループは「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命とし、この使命を達成するために、全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定め、実行しています。



デンソートリムもこの方針に従って、日本、海外での企業活動を通じて、率先して新たなモビリティ社会の持続的な発展に貢献を続けています。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）＊」を達成するために、会社スローガンを「技術と技能と感性を磨きお客様に喜ばれるモノづくり」としました。

環境においては、ハイブリッド等の排気ガス低減や地球環境に優しい製品の開発・設計・生産や工場における省エネルギー活動等に加え、太陽光発電や小水力発電など創エネルギーにも取り組んでいます。また地域社会との共生にも取り組み、地下水を利用した空調エネルギーの低減や災害時の飲料水供給などにも積極的に取り組んでいます。

社員を大切に活動としては、健康経営に努め「健康経営優良法人」認定を取得し社員の健康管理に最優先に取り込むことや、技術棟・モノづくり棟に技術・技能を磨き上げる道場を開設し、社員のやる気と能力を高める活動をしており、人への投資を更に強化しています。

ようやく新型コロナウイルス(Covid-19)の感染も、ワクチンや治療薬、医療機関の対応で落ち着いてきましたが、まだ予断を許さない状況です。従業員の健康と生活の自由を保ったうえで設計、生産という企業活動が安定して継続できることが最重要と考え、今後も社会、地域、お客様、関係会社そして従業員の皆さんに喜んでもらえる持続的な発展に会社一丸となって取り組んで参ります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2023年7月

株式会社デンソートリム

取締役社長

水野 功

*持続可能な開発目標（SDGs）とは？

2015年9月に150を超える首脳が参加する「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、「我々の世界を革新する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択。人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。

この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。「サステナビリティ」を考える上での世界の共通言語として位置付けられるものです。

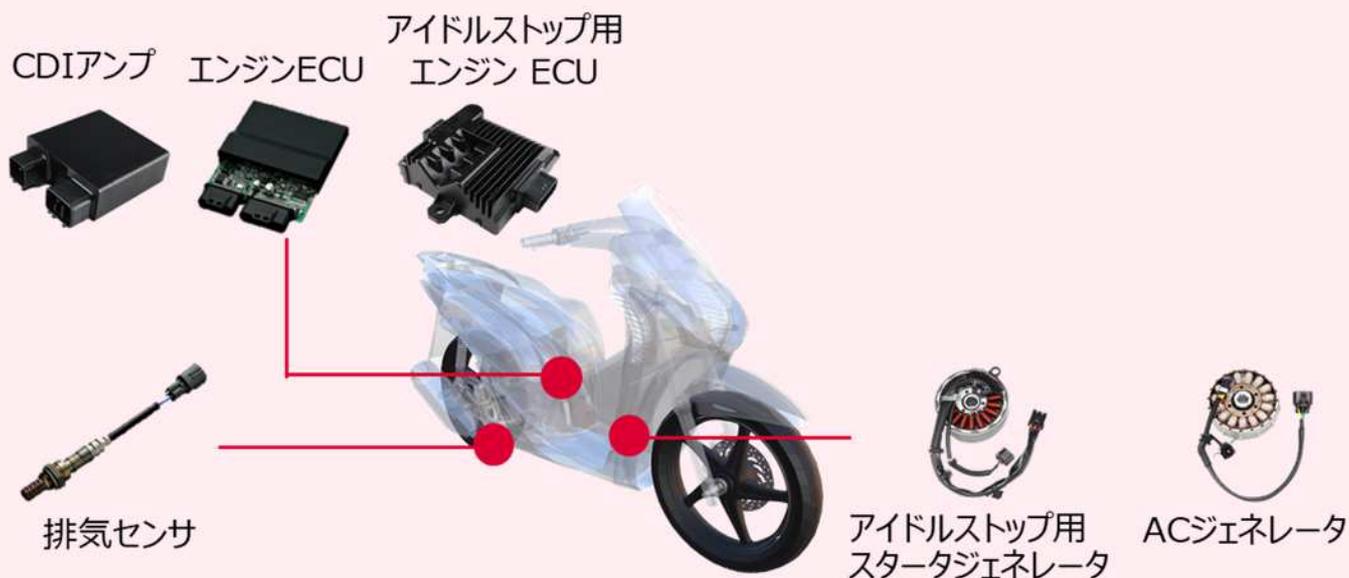


3. 製品概要

デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンECU・ランプECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O2センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。

3-1. 二輪製品



ACジェネレータ … 永久磁石を用いた、二輪車用発電機であり、電気を電装部品に供給し、かつバッテリーに充電するために必要な製品。加えて、エンジン回転を安定させるフライホイール機能を持ち、エンジンの最適制御を可能とする独自技術の突起を備え、OBD2規制対応に貢献しています。
また世界各地で材料を現地調達しており、部品輸送のCO2排出低減に寄与しています。近年、固定子のコイルにアルミ線を採用した発電機を独自開発し、軽量化にも貢献しています。

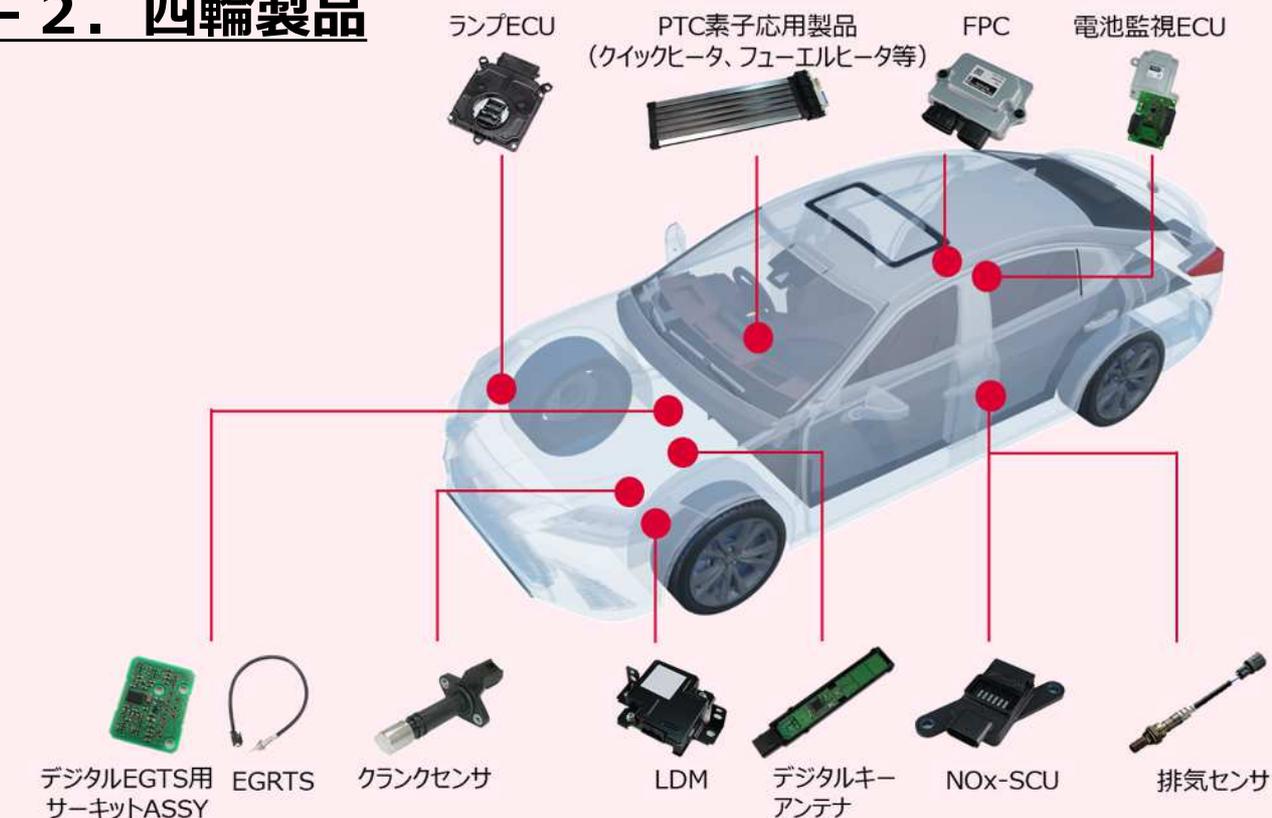
アイドルストップ用スタータジェネレータ … ACジェネレータに、エンジン始動のスタータ機能を追加した製品。エンジン直結でブラシレスのため、摩耗部がなく、始動が早く、静音性に優れています。
二輪では希少なアイドルストップを可能とし、低燃費化に貢献しています。
また、回転子は接着剤を用いない構造としており、加熱硬化を廃止した環境に配慮できる製品です。
製品を標準化し、お客様に貢献しています。

エンジンECU … 燃料をエンジンにタイミングよく、そして最適に噴射するために電子制御を行います。燃焼をコントロールすることでエンジン本来の性能を高め、高出力化、燃費向上、クリーンな排気を実現します。

CDIアンブ … エンジン回転数に応じてエンジンの点火時期を適正に制御する二輪車用電子制御装置です。燃費向上と排気ガスのクリーン化に貢献します。

排気センサ … 排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。

3-2. 四輪製品



電池監視 ECU ... ハイブリッド車の電池ユニットの電圧、電流、温度を監視する電子制御装置です。HV-ECUに監視情報を伝えます。

デジタルキーアンテナ ... スマートフォンで車の施錠や解錠をするBLE (Bluetooth Low Energy) 電波を受信するアンテナです。車格や用途に応じ、システム機能を層別。高機能モデルではスマートフォン操作不要でドアの開閉が可能となります。

NOx-SCU ... 車両から排出される有毒なNOxを検知するセンサが組み込まれた電子制御装置です。車両から排出されるNOx排出量を低減させ厳しい排気ガス規制に対応する事で地球環境保全に貢献します。

デジタルEGTS用サーキットASSY ... 車両から排出される排気ガスの温度センサを組み込んだ電子制御装置です。エンジンからの排気経路にセンサを配置する事で省燃費に貢献します。

FPC ... エンジンへの燃料供給量を制御する電子制御装置でエンジンECUからの信号により燃料ポンプへ最適な燃料を供給し燃費向上に貢献します。

ランプECU ... LEDヘッドランプの点消灯制御と光軸制御を行なう電子制御装置です。夜間走行の視認性を大幅に高め、省エネに貢献しています。

LDM ... LEDヘッドランプの明るさを一定に制御する電子制御装置です。夜間走行の視認性を確保し、省エネに貢献しています。

排気センサ ... 排気ガス中の酸素 (O₂) 濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ (ECU) で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。

PTC素子応用製品 ... 自己温度制御特性を有したセラミック素子 (PTC素子) が組み込まれたヒータです。自動車用エアコンユニット内に搭載され、エンジン水温が低い状態でも車室内を素早く暖め、快適な空間を提供します。

クランクセンサ ... エンジン回転数とクランクシャフトの角度位置を検出するセンサです。エンジン制御ECUが最適な点火時期制御、燃料噴射量制御等を実施できる状態にします。

EGRガス温度センサ ... 温度と相関のある抵抗値を示すセラミック素子が組込まれた温度センサです。車の排気ガス中の窒素酸化物低減の為に、排気ガスの一部を吸気側へ再循環させるEGRシステムにおいて、再循環させた排気ガスの温度をモニターします。

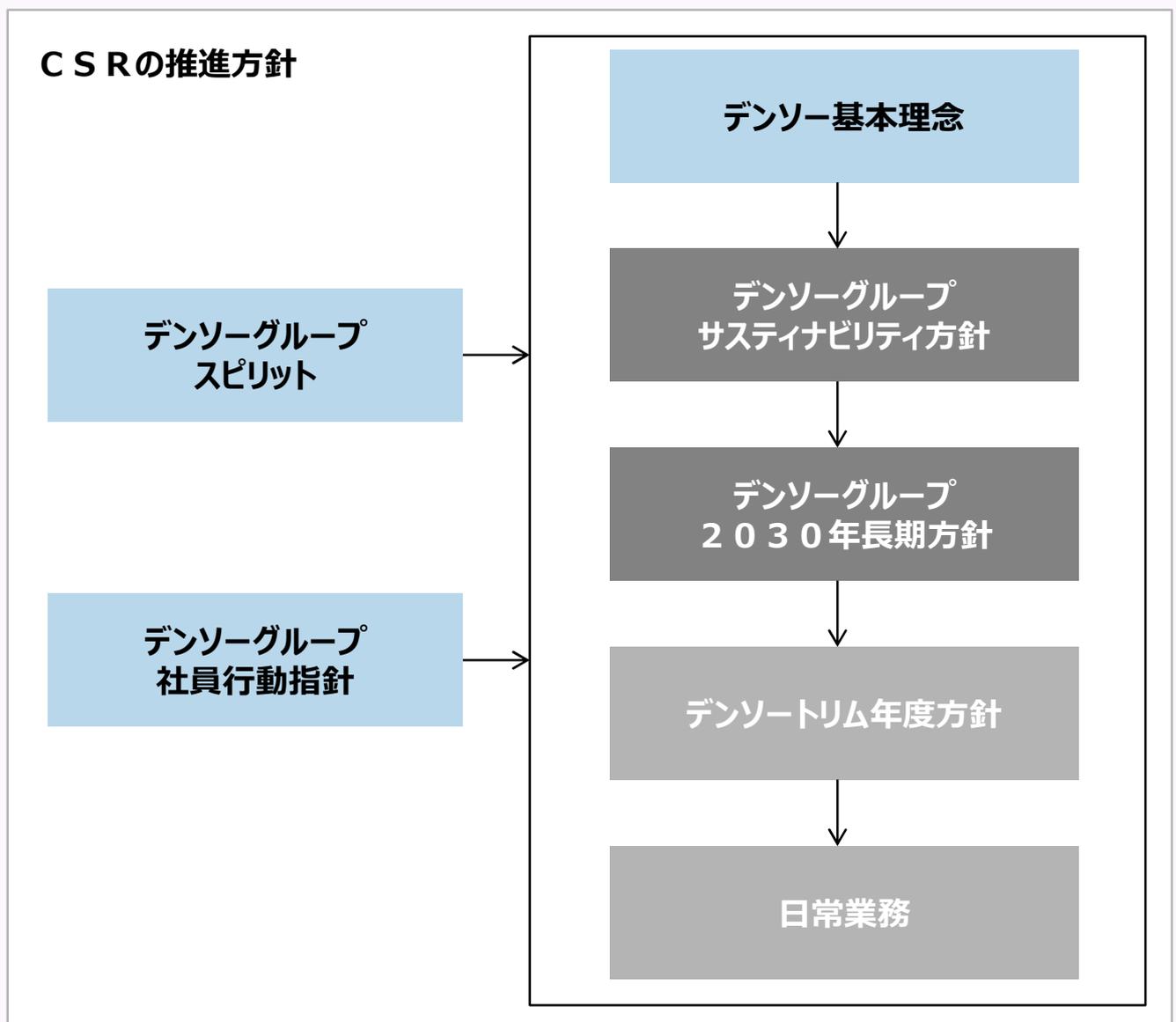
4. デンソートリムのCSR

4-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。この使命を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。

これを世界中で事業活動を行うデンソーグループ各社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。さらに2018年12月には、「デンソーグループサステナビリティ方針」へと改定し、社会の持続的発展へ率先して貢献していくことを宣言しました。このようにデンソーグループはCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立てCSR活動を推進しています。



4-2. デンソーグループサステナビリティ方針

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定めました。

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。
- (2) 国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。
- (3) 労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。
- (4) 社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

4-3. デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

項目

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場を目指して
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄を目指して
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

4-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。

企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組みを推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、グローバルな共有に注力しています。

5. 社会性報告

5-1. 社員とともに

関連するSDGs



(1) 社員教育

① 基伝館（社内教育訓練道場）

モノづくりに必要な知識・技能を習得する場としてモノづくり棟2Fに設け、座学（OFF-JT）と実技訓練（ON-JT）を実機・実践に近い形で、新入社員はもとより中堅・職制まで全員を対象に教育、各種検定訓練、試験を開催し人材育成を推進しています。

② 階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為にメニュー作りを強化しています。

階層別教育：役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上
管理手法の習得を図る教育

職能別教育：各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

	階層別教育 マネジメント	職能別教育 事務分会	職能別教育 技術分会	職能別教育 技能分会
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・LEMS ・部長特訓スクール ・論文執筆 ・課長研修 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任課長品質 ・新任課長特許/輸出管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野管理者教育（TIE、TPM等）
指導級	<ul style="list-style-type: none"> ・課題形成能力向上 ・MBC ・リーダー強化 ・班長教育 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任係長品質 ・新任係長特許/国際標準化/輸出管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度技能研修 ・職長教育 ・TIE/PM 上級 ・品質管理 上級
中級	<ul style="list-style-type: none"> ・5等級研修 ・現場力を高める ・4等級研修 ・課題発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・5等級研修報告会 ・ロジカルシンキング 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術検定 ・SQC実践活用 ・原価と原価管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技能研修 ・各種安全衛生資格講習 ・TIE/PM 中級 ・品質管理 中級
初級	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決 ・働く心構え 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・トヨタ生産方式 	<ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルスキル研修 ・品質 ・コストエンジニアリング基礎 ・特許・輸出管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・TIE/PM 初級 ・品質管理 初級 ・異常処置 ・職場の基本

③ QCサークル

創業時より活動しているQCサークル活動は、サークルメンバーの能力向上・自己表現、明るく活気に満ちた働きがいのある職場づくり、お客さま満足度の向上及び社会への貢献を目指しています。

新型コロナウイルス感染防止対策のため活動自粛期間もありましたが、全社で徹底した3密対策を講じながら、72サークル計728名がQC手法などを学び、活用しながら、管理・改善に取り組んでいます。

例年参加し「石川馨奨励賞」をはじめとした数々の賞を頂いてきたQC三重地区・東海地区主催の社外大会へは参加自粛の判断をしながらも、社内大会においては活動の成果を“現地現物現実”で確認するなど、活発なQCサークル活動を推進しています。

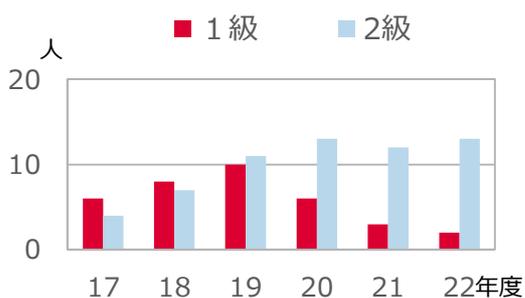


QCサークル活動の様子

④ 社内技能検定

当社では2017年より高度技能集団企業を目指し、社内検定制度を整備・運用しています。この制度は、当社のモノづくりに必要な実技試験【機器組立、計測、設備診断(1級)：品質チェック(2級)】と学科試験を設定し、全ての試験を合格とした社員を製品製造装置オペレータとして資格認定する仕組みで、社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めていこうとしています。

本制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。更に当社から三重県に働きかけて「三重県技能評価認定制度」が創設され、2020年当社社内検定制度が三重県の認定第一号を取得。これにより合格証に三重県知事名が記載される事となり、2021年度には一見 勝之知事名入りの合格証が授与されるようになり、22年度も1級2名2級13名に授与されました。



社内検定認定者数推移

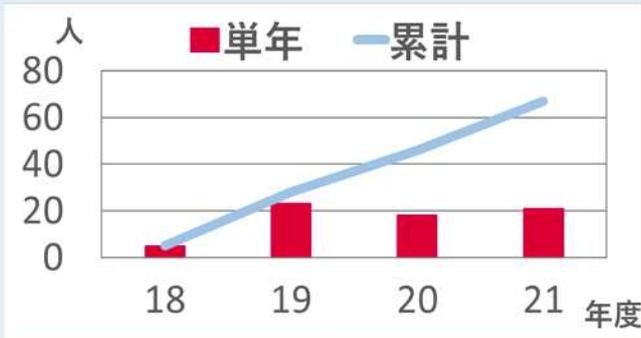


検定試験の様子

⑤二輪道場（バイク教室）

二輪車（バイク）用部品の開発・設計に携わる従業員の知識・技能の向上を目的として、2018年に技術棟内に二輪道場を開設しました。

道場では2018年から定期的に二輪車用部品の開発・設計に携わっている社員が参加する「バイク教室」を開講しており、参加者が自分たちの手で実物の二輪車を分解・再組立てしたり、システム動作を確認する等して、二輪車の構造に関する見識を深めています。2021年度までに延べ67名がこの教室を受講しており、今後も順次技術系の社員を中心に受講していく予定です。



バイク教室受講人数推移



バイク教室の様子

※2022年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施を中止しております。

⑥第42回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック） 〈電子機器組立部門〉銅賞受賞

TOPIC

令和4年11月4日～6日に千葉県の幕張メッセで開催された第42回全国アビリンピックの「電子機器組立部門」にて、弊社の西尾慎一さんが銅賞を受賞しました。弊社では基本理念で社員が「積極的にチャレンジする環境を創る」としてアビリンピックへの参加も支援しており、全国大会の予選会となる三重大会の同競技種目に4名の社員の方が参加。互いが切磋琢磨しながら訓練を重ねた結果、西尾さんが初参加で優秀賞（1位）を獲得し三重県代表として全国大会への出場切符を手に入れました。その後も仲間の支援や本人の並々ならぬ努力で磨き上げた技能を大舞台で見事に発揮し、大きな成果を上げる事が出来ました。

今後は先生役を担い、昨年悔しい思いをした人へ訓練を行い三重大会連覇に繋がります。



三重大会 優秀賞受賞



全国大会 競技風景



三重県 廣田副知事へ
全国大会入賞報告

(2) コミュニケーション

① 全社朝礼

例年は毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催していましたが、新型コロナウイルスの感染防止及び通信環境への配慮から、事前に録画した内容を自席や職場で聴講する形へ変更しました。当日の夜勤者や聴覚障がい者にも内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストと全社朝礼ダイジェスト動画を作成し、各職場やサイネージ（大型液晶パネル）での展開を実施しています。



全社朝礼配信の様子

② ありがとう活動

コロナ禍でもできる活動として、従業員一人一人の嬉しさや職場の士気向上・活性化、コミュニケーション向上へ繋げる企画として、社長からの感謝を「メッセージカード」にして全従業員へ配付しました。カード裏面は 構内売店で交換可能なアイスまたはジュース引換券となっております。



社長メッセージ

③ 元気プロジェクト

2016年4月より「お客様から信頼され、従業員が誇りに思える、明るく・楽しく・元気な会社」を目指す、元気プロジェクト活動を開始しました。活動に自主的に参加している社員とともに、様々な取り組みを行っています。2022年度は新型コロナウイルスの影響で活動が減りましたが、感染対策をしながら以下のような活動を行いました。今後も当社が明るく元気な会社となれるよう、活動を実施していきます。

7月 七夕フォトコンテスト

9月 グリーンフォトコンテスト

10月 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン出店

12月 手作り門松設置

従業員への感謝プレゼント



手作りの門松と制作者



感謝プレゼント配布の様子

④ 社員親睦

より良い職場環境を築くべく、社員同士や社員と経営層との親睦を図る場を積極的に設けています。これらは係長以下の全従業員で構成される「従業員会」が中心となり運営しています。例年は多くの企画を開催しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、2022年度はトリム健康ウォーキングのみの開催となりました。



健康ウォーキング（11月）

⑤ 永年勤続表彰

勤続20年、30年を迎え、永く会社に貢献している従業員の労をねぎらい、さらなるモチベーションアップに繋げるため、創立25周年を迎えた2015年より永年勤続表彰を毎年継続して行っています。2022年4月には、今年勤続30年を迎えた19名と勤続20年を迎えた16名を対象に賞状と記念品が贈呈されました。



永年勤続20周年



永年勤続30周年

(3) 社外表彰

① グローバルデンソー省エネポスターコンクールで入賞 **TOPIC**

デンソーグループでは毎年6月を環境月間と定めており、それに合わせて様々な環境に関する取り組みを行っています。

その活動の一環としてデンソー本社、海外拠点、国内グループ会社を対象に省エネポスター作品の募集がありました。このコンクールで当社社員の堀川隆夫さんの作品が、応募総数1853作品の中で優れた35作品に与えられた「地域賞」を受賞しました。



受賞記念撮影(左)、受賞作品(右)

② iF DESIGN AWARD 2022受賞 **TOPIC**

二輪エンジンECUの設計において、iF DESIGN AWARD 2022を受賞しました。

iF DESIGN AWARDとは・・・

iFデザインアワードは、68年にわたり国際的に権威のあるデザインアワードのひとつとして、またiFロゴは優れたデザインの証として広く認知されています。この賞は、製品、パッケージング、コミュニケーション、サービスデザイン、アーキテクチャ、インテリア/インテリア、プロフェッショナルコンセプト、ユーザーエクスペリエンス(UX)、ユーザーインターフェイス(UI)の9つの分野で構成されています。



受賞したエンジンECU

受賞関係者の声

この度iF DESIGN AWARD 2022を受賞することができました。今回、デンソーオリジナルのECUを作るということで、デンソーのデザイン部と協力して、一目見てデンソーのECUだと分かるECUを作ることができました。また、見た目にもスタイリッシュなECUを作ることができ、今回の表彰に至りました。メーカーとの調整で苦労することがありましたが、こうして結果を出すことができ嬉しく思っております。ありがとうございました。



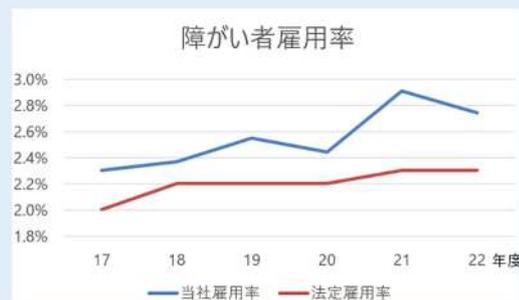
受賞関係者

(4) 多様な人々が活躍できる職場づくり

当社はダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、すべての従業員が長く活躍できるよう様々な活動を推進しております。

① 障がい者雇用

誰もが働きやすい会社を目指しており、現在、障がい者雇用率は法定を上回っています。また、コロナ禍突入以降、感染防止のため中止しておりましたが、聴覚障がい者の懇親会を復活させ、会社や職場への要望等を確認・対応させていただきました。今後も定期的な開催を検討しています。



社内・社外活躍事例

難聴というハンデを持ちながら、普段の作業中はどこから音が出ているのか、また周りを見て自分で意識して仕事に励んでいます。そして、6月にアビリンピック三重大大会に参加しました。初めての大会でしたが、優秀賞を獲得することができ、全国大会出場への切符をいただきました。8月～11月上旬まで全国大会に向けての練習をしました。1人での練習は限界があり、苦戦したこともありました。そんな中、デンソー高棚製作所の方と練習をする機会があり、様々な方の意見を聞くことで、「工具はこれを使った方がいい」や「こうすればスピードが上がる」等色々なパターンの練習ができました。本番では練習の成果が実り、全国大会で3位を獲得することができ嬉しかったです。これから同じ大会に挑戦する仲間が困ったり不安に思うことを少しでも減らすことができるように自分の経験を伝えていきたいと思えます。



パワトレ生産1課 西尾さん

② 次世代育成の推進

仕事と育児や不妊治療の両立を支援するため、「法を上回る育児休業制度」や「不妊治療のための休職制度」などを制定しております。特に育児については、性別を問わず育児休業をはじめとした育児支援制度の利用を促進しており、2022年度における男性育児休業取得率は42.3%と、高い数値となっております。

育児休暇制度利用者の声

3人目の子供が生まれた時はコロナの影響もあり里帰り出産も難しい状況の中、仕事と家庭の両立ができるのか不安を感じていました。仕事の忙しさから育休取得を悩んでいましたが職場の仲間が快く引継ぎしてくれ感謝しています。妻の体調が安定しない中でサポートする事ができたのは勿論、初めての育児生活は思った以上に大変で、何ものにも代え難い貴重な経験でした。



生産技術 多田さん

③ シニア社員の活躍推進

今後増加が見込まれるシニア社員がいきいきと働き、その豊かな経験と能力を最大限発揮できる環境や制度の整備を推進しています。

- i ライフマネジメント研修（定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える）
- ii 振り返り研修（ライフマネジメント研修受講後 5年で、生活設計を再度考える）
- iii ネクステージ面談（定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える）
- iv キャリアアソシエイト制度（意欲・能力のある方の60歳以降の活躍を推進する）
- v 65歳以降雇用（個人スキルを有する方の指導員制度あり）

④テレワーク(在宅勤務)制度の導入

職業生活と家庭生活の両立に資する雇用環境の整備の一環として、テレワーク(在宅勤務)制度を導入しております。同制度の活用により、育児・介護・家事の時間を確保しながら働くことや、台風などの災害時でも通勤が不要なことから、社員の安全を確保した上で、自宅で安全に業務を行うことができます。

テレワーク(在宅勤務)制度利用者の声

私の職場ではコロナが流行し始めた頃にテレワーク制度を導入してもらいました。子供達が自宅でリモート学習になった時など、家庭で子供を見ながら仕事を進める事ができ大変助かりました。また、コロナが収束していくにつれ、学校の行事も徐々に増えてきましたが、今までであれば業務が多忙であっても半休で対応していましたが、テレワーク制度は業務時間の調整が出来るので、午前中に出勤、午後テレワーク勤務に変える事で、学校行事にも参加でき、仕事を進める事が出来るのでとても助かっています。子育て期間はあっという間に過ぎていきそうですが、子供に寄り添いながら、今後もテレワーク制度を上手に取り入れていきたいと思っております。



試験実験課 浅野さん

⑤アスリート採用

当社は、三重県からの依頼により、地域貢献の一環としてアスリート採用を積極的に行っています。2022年4月には向後 アディソン ジェスモンドさん(男子バスケットボール)が入社しました。会社としては、強化練習や公式戦が平日に行われる場合は、公休を適用するなどし、仕事とバスケットボールを両立できるよう、向後さんを支援しています。

(5) 防災救命 (災害への備え)

当社では各職場に防災リーダーを設置し、そのリーダーの防災救命対応スキルを上げてもらう為、リーダーになる方に普通救命講習を実施してきました。普通救命講習とは心肺蘇生法、AED対応、搬送、止血、骨折対応などの救命スキルを習得してもらう講習となります。また消火栓班のメンバーは毎年消火栓の取り扱い訓練として実放水の訓練を継続していました。

しかしながらコロナ禍で、面直で実施しなければならない講習が各職場の防災リーダー等に実施することができない状況が3年近く続きました。

22年度下期にはコロナ感染拡大が落ち着いてきた為、放水訓練を実施し、23年3月には現状の最新の組織に合わせ、新しい防災リーダーを追加選出し、本社27名、大安13名と合計40名もの方に普通救命講習を実施し、既存リーダー含めると65名もの方が普通救命講習を受講した形に挽回いたしました。また22年度秋には昼間夜間ともに屋外避難まで実施した形で防災訓練も再開することができました。



放水訓練の様子



夜間避難訓練の様子

内容	対象	2022年度在籍
応急手当普及員	社内防災隊班長	8名
普通救命講習	各職場防災リーダー	65名

(6) 健康経営の取り組み（こころとからだの健康管理）

デンソートリムでは、経営理念にある「共に働く仲間一人ひとりが幸せで充実した人生になるように努力する」を実践するため、社員が健康第一でいきいきと働くことができるよう、健康増進活動を全社で推進しています。

2022年度は、健康経営が全従業員へさらに浸透すること、健康風土の醸成を目指して、社長メッセージの発信や全従業員に健康経営について教育を実施するなど行ってきました。その他の健康増進の活動として、

①社内で初めての胃がん検診実施

2022年度は、50歳以上の偶数年齢の方を対象にトリムで初めての胃がん検診を実施しました。事前の調査では、胃がん検診を定期的に受けておられる方は非常に少なかったのですが、今回は95%を超える受診率で多くの方に検診を受けていただくことができました。このことから受診しやすい環境を整えていくことの重要性を感じました。

②体力測定（椅子立ち座りテスト、2ステップテスト）

従業員の健康意識の向上や運動習慣を持ってもらうことを目的に、2020年度は5歳ごとの節目年齢対象者に実施。2021年度からは、内容や方法を見直し全従業員を対象を拡大、健康診断と併せて実施しています。

2022年度は、参加率は89.4%→96.9%に増加、体力測定の実施が従業員に認知され、測定数値も昨年の結果よりも良化しました。



水野社長の体力測定の様子

③セルフケア教育

メンタルヘルス対策の一環として、新入社員にセルフケアとしてのストレスチェックの活用やストレス対処法について保健師が講習を行いました。今後は入社後3年間で段階的にセルフケア教育を実施していく予定です。

これらの活動の結果、昨年に引き続き「健康経営優良法人(大規模法人部門)」 「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」の認定を受けることができました。



(7) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合い言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しています。また、2017年には「安全道場」を開設し、従業員へ安全に関する体感教育を行っています。これらの施策の結果、操業以来「休業災害以上0」を継続しており、2016年1月18日には第四種無災害記録（2,370万時間）を達成しました。今後も愚直に安全活動に取り組み、「災害ゼロ」を目指します。

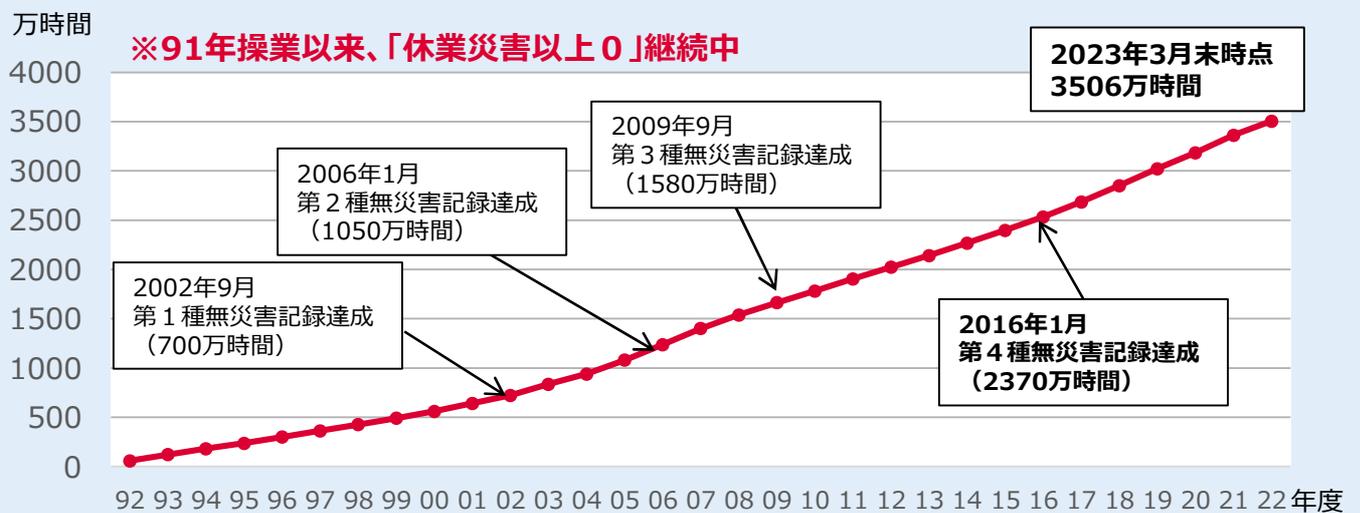
①安全指標（2022年度）

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

②安全施策

	18年	19年	20年	21年	22年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話 3-3 安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				
	班長安全宣言 リスクアセスメント・リスク低減活動				
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	公開段取 トップ層による確認				
	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策				
	成形機	クレーン	ロー点検	危険物・レーザー加工機	
マネジメントの強化	安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着				
	OSHMS全社活動/化学物質強化				
				ISO45001 取得(大安)	

③無災害時間（休業以上）



第四種無災害記録認定証



安全道場



経営層による安全診断
(公開段取り)

5 - 2. 地域・社会とともに

関連するSDGs



(1) SDGs貢献活動

当社ではSDGs達成に向けて身近な事からSDGsに繋がる活動を行っております。

①カーブミラー清掃実施 **TOPIC**

ゴミゼロ活動の一環として実施していた近隣地域のカーブミラー清掃を2020年より新型コロナウイルス拡大防止のため中止していましたが、2022年3月に3年ぶりに実施しました。今後も定期的なカーブミラー清掃を継続することで、地域の交通安全に貢献して参ります。



カーブミラー清掃の様子

②ニチバン巻心ECOプロジェクトへの参加 **TOPIC**

ニチバン株式会社様主催の巻心ECOプロジェクト「テープの巻心を集めて緑の地球を守ろう！」に参加しました。その結果、ニチバン様より感謝状とお花の種をいただきました。今後も様々な活動を通して、地球環境保護活動を継続していきます。



感謝状

③ゴミゼロ活動 **TOPIC**

ゴミゼロ活動として、会社周辺道路のゴミ拾いを4回に期間を分けて実施しました。2022年度は3密回避のため 昼勤稼働日の昼休みにボランティアとして集まった従業員が参加しています。今後も会社周辺の美化活動に取り組み、地域社会に貢献していきます。



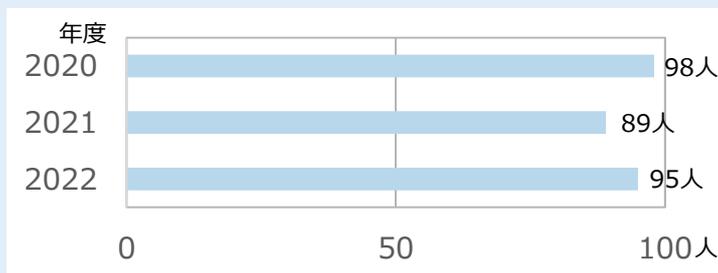
ゴミゼロ活動の様子

④「デンソーグループ・ハートフルデー」の取り組み

当社では地域社会の一員として様々なボランティア活動を行っています。当社はこれらの活動を「デンソーグループ・ハートフルデー」の取り組みとして、今後も大切にしています。

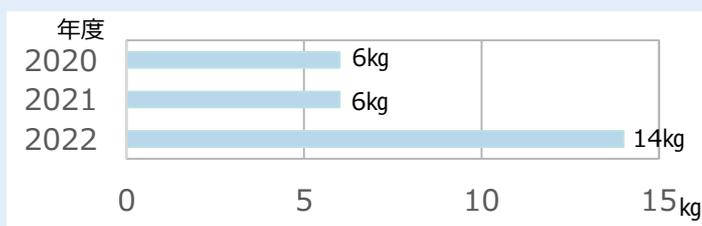
献血活動

私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施しています。



空き缶のプルトップ収集（2009年～）

障がいのある子供たちに車いすを贈るためにプルトップ収集を継続しています。自販機や各職場に収集箱を設置し、気軽にボランティアができるようにしています。約200kgのプルトップで車いす1台が贈れます。



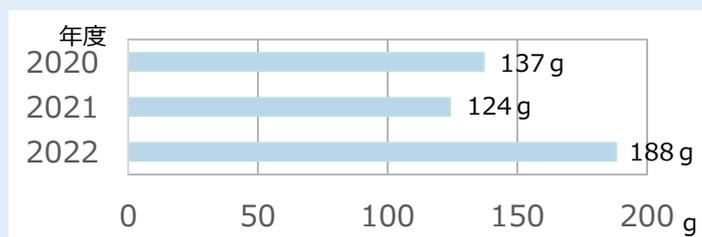
ペットボトルのキャップ収集（2010年～）

世界の子供をワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。本館と技術棟入口に収集BOXを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯になると（2400個）3人分のワクチンが購入可能となります。



使用済み切手収集（2013年～）

地域の福祉活動推進に役立てていただくために、使用済み切手を収集しています。菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈っています。



⑤SDGsコーナー

2022年3月より、多くの従業員が集う本社食堂前と工場通用口付近に“SDGsコーナー”を設置しております。SDGsコーナーではSDGs行動の紹介やちょボラ回収を行っております。以前より回収していた①ペットボトルキャップ②プルトップ③使用済み切手に加え、新たに④書籍⑤コンタクトレンズケース⑥テトラパック⑦ベルマーク⑧使用済みカートリッジ⑨テープ芯の回収を行っております。

2022年度回収実績

回収内容	実績
書籍	62冊
コンタクトレンズケース	1.3キロ
テトラパック	0キロ
ベルマーク	1891点
インクカートリッジ	51個
テープ芯	15キロ



(2) 交通安全活動

当社では交通安全行動を率先垂範できる社員づくりを目指すとともに、地域社会の交通安全に貢献していくため様々な活動を行っています。これらの活動を評価いただき、2018年6月に三重県交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受けました。

また、全従業員が飲酒運転を含む悪質運転（デンソーグループでは飲酒運転・無免許運転・ひき逃げ・当て逃げ・暴走行為を悪質運転と呼んでいます）の根絶に努めています。社員一人ひとりが、交通安全行動を率先垂範できるよう努めております。

実施項目		内容
社員への交通安全教育	新入社員の通勤経路同乗指導（4月）	免許取得1年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施
	交通安全タッチ&コール（毎日）	毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施
	長期連休前交通安全メッセージ放送（5月・8月・12月）	GW・夏季連休・冬季連休前の稼働最終日に社長からの交通安全メッセージを全社放送
	若年者運転実技指導（3月）	工場スタッフが講師となり、若年層従業員に急ブレーキ教育を実施
	若年者安全運転講習（10月・12月）	若年者の交通事故低減に向け、25歳以下従業員に対し、外部講師による加害事故防止講習を実施
通勤車両管理	西門立哨（月1回）	当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施
	通勤車両チェック（随時）	違法な車両が無いか確認を実施
地域活動	カーブミラー清掃（年1回）	交通事故防止のため、大強原・池底地区のカーブミラー清掃を実施

※2022年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、上記実施項目の一部を中止しております。



若年者安全運転講習



社内トップ立哨



カーブミラー清掃

6. 環境報告

関連するSDGs



デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループを目指しています。そのため、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

デンソートリムでは2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」、「クリーン×2(環境負荷低減)」、「グリーン×2(環境保全)」に取組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。



〔デンソーエコビジョン2025〕

6-1. デンソートリム環境方針

(1) 理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

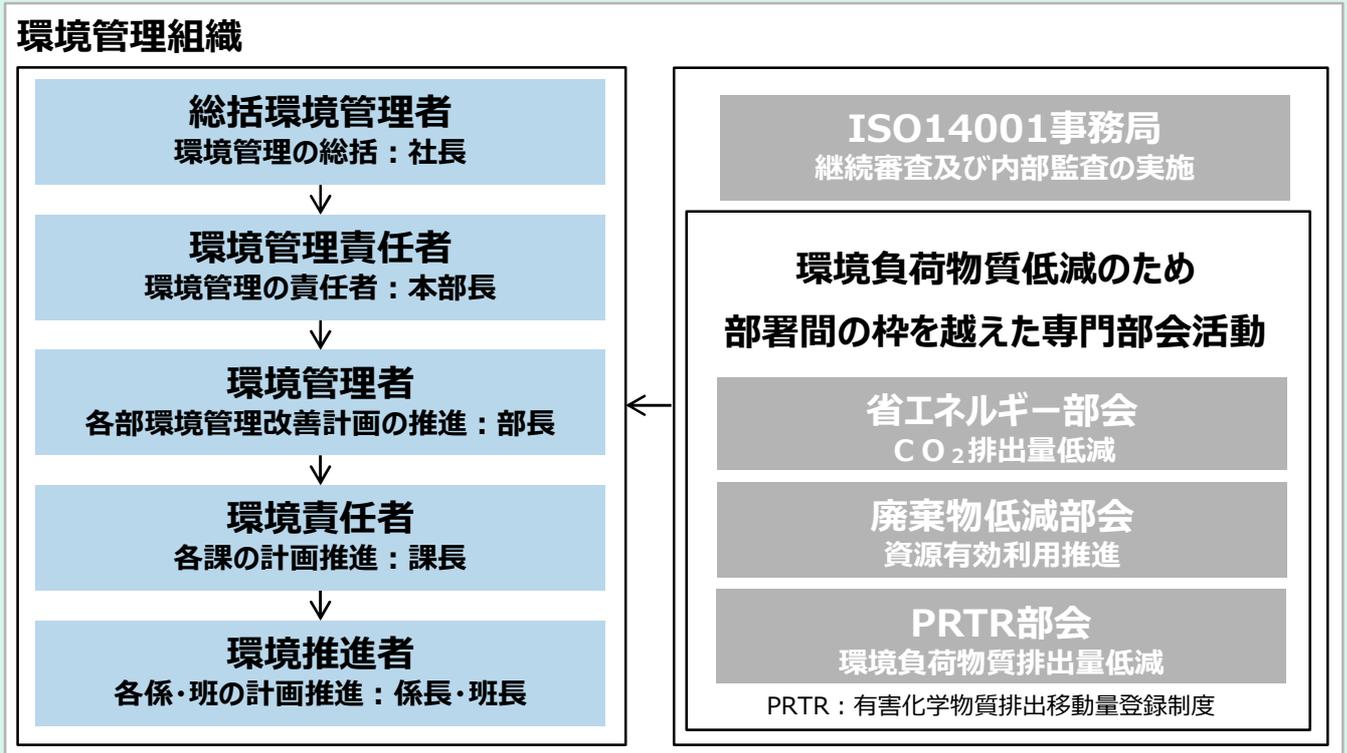
(2) 方針（骨子）

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

6-2. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



6-3. 環境行動計画

(1) 2022年度の取組項目と実施事項

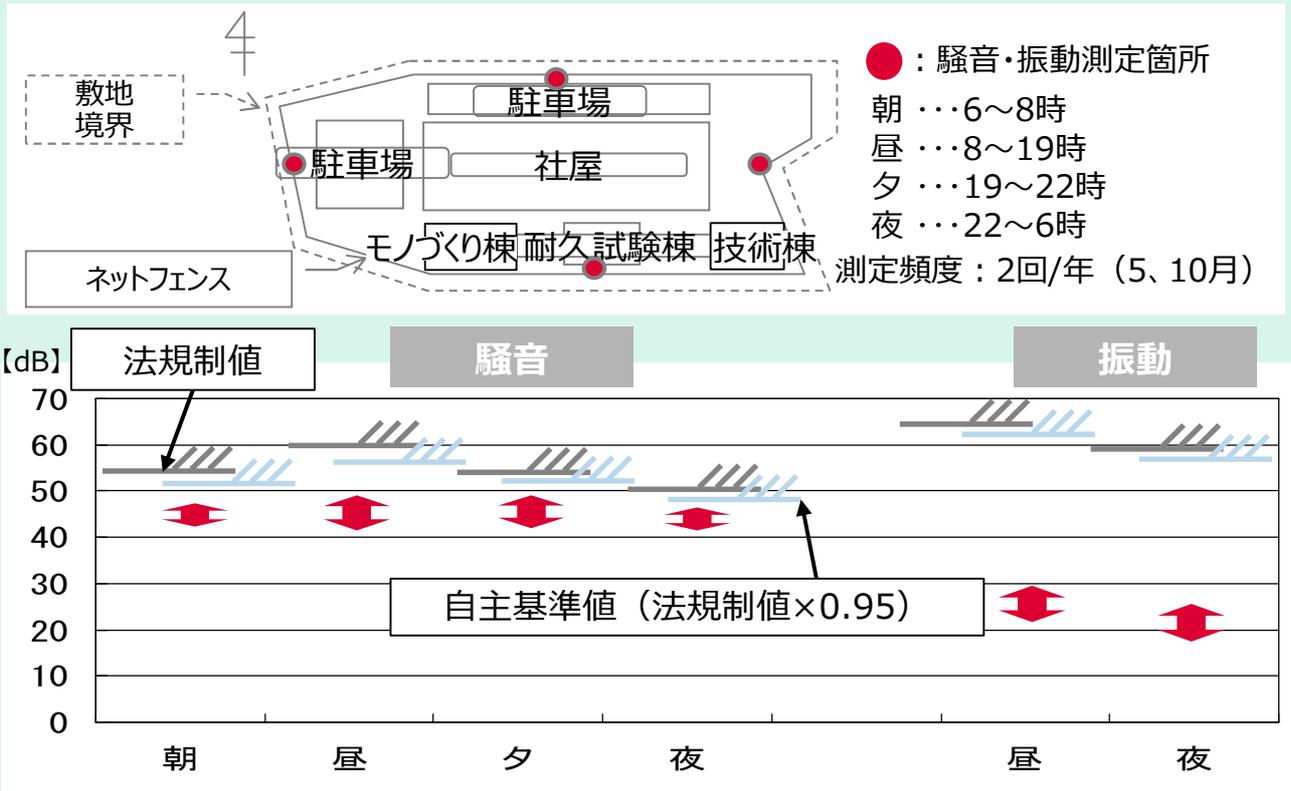
仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

デンソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
究極の燃費性能	車社会における消費エネルギー製品の開発及び生産	低燃費に貢献する製品の設計及び製造	2輪車用アイドルストップ製品の開発及び生産 低燃費関連製品であるO2センサーやハイブリッド関連製品の製造
ミニマムCO2モノづくり	生産CO2削減	省エネルギーの推進	目標：CO ₂ 排出量 12年度比▲34%
低炭素な暮らし・移動	業務移動における化石エネルギー使用の低減	社有車更新・導入時エコカー導入	社有車ヘッドドライブレコーダーを装着 エコドライブの推進
エコマテリアル&ローエミッション	グローバル規模の環境負荷物質規制への積極的な切り替え推進	デンソーからの展開事項の順守	デンソー図面指示の順守100%
ミニマム環境負荷生産	排出物削減	排出物削減の推進	目標：前年度実績の維持
環境意識・知識・スキル	環境業務従事者の環境設備・作業リスクの知識・対応力強化	環境重要設備異常処置訓練実施 環境教育の実施	環境重要設備 4施設の訓練実施 1回/年 従業員 2H/人 実施
環境価値創造のマネジメント	環境CSR情報の積極的な発信と地域社会等との双方向コミュニケーションの推進	環境コンプライアンス徹底	環境マネジメントシステムの運用改善 (ISO14001認定更新) 法順守100%

6-4. 法規順守状況

・騒音振動測定結果

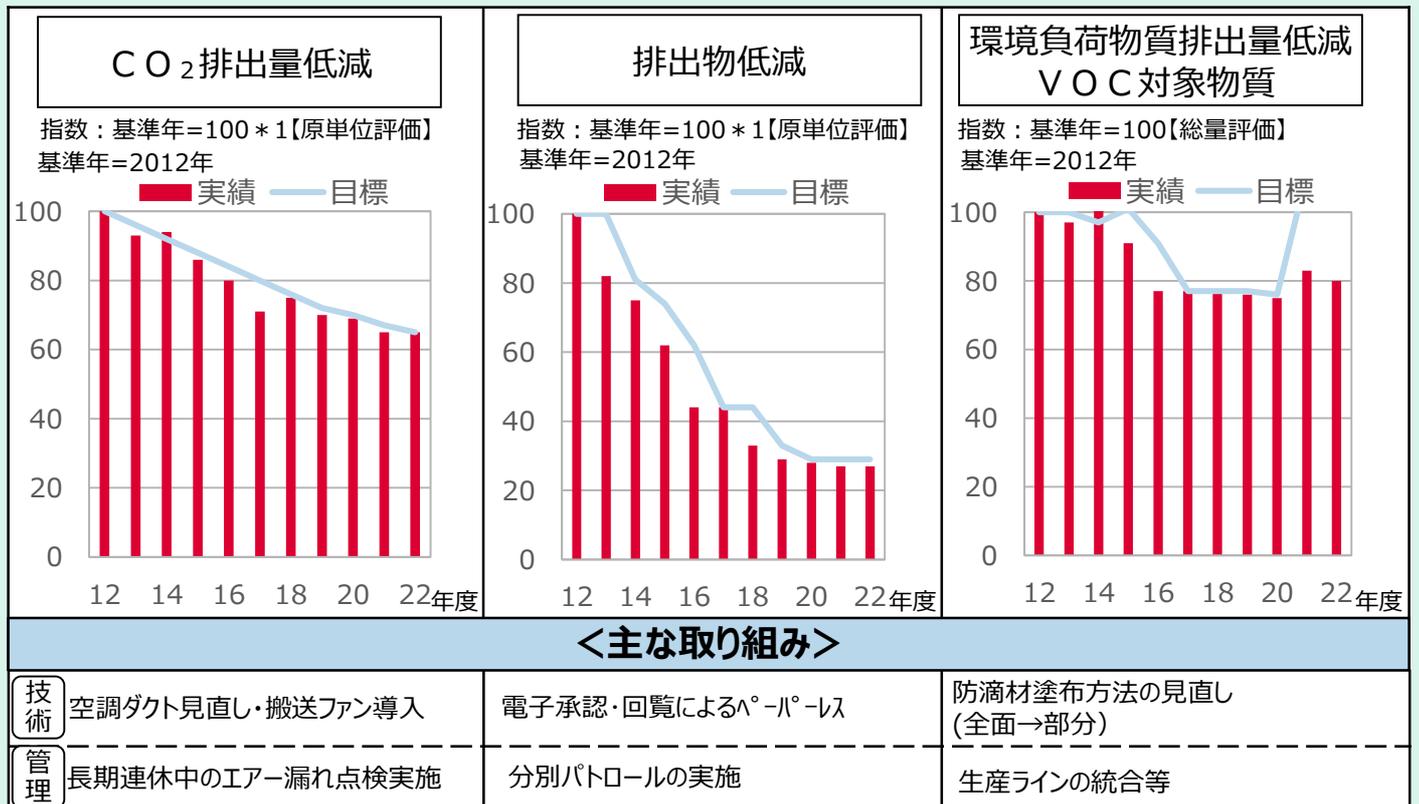
騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。



6-5. 生産環境負荷削減

(1) 生産環境負荷の削減活動状況推移について

継続的な改善活動で2022年度目標は達成。さらなる改善に取り組みます。



* 1【原単位評価】：生産金額1億円当たりの排出量
 VOC：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）

6-5. 生産環境負荷削減

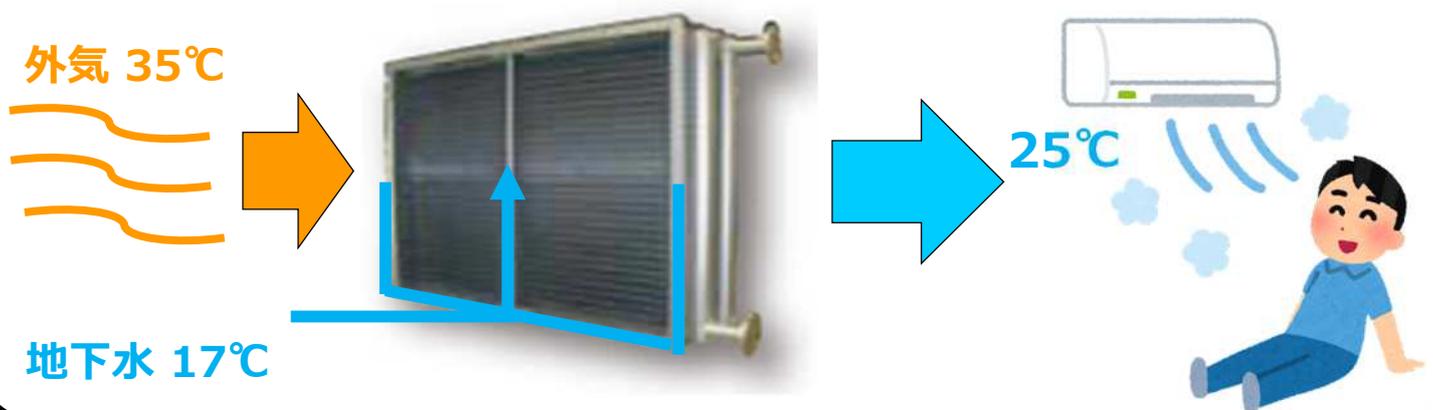
(2) 省エネ活動 - 熱マネジメントの強化推進

トリムの使用電力のうち 1/4が空調電力が占めております。この空調使用電力の最小化を目指し、「徹底した熱マネジメントによる空調負荷低減」を進めてきました。

その中でも鈴鹿山脈の豊富な地下水を利用した地域性を活かした『地下水空調システム』・『屋上散水システム』が省エネに大きく貢献しています。

地下水空調システム

地下水空調システムは敷地内に井戸を設置し、一年を通じて水温が17℃の地下水をくみ上げ、ラジエーターへ通し、そこに外気を通過させることで空気を冷却させるシステムです。効果としては、▲44,606kWh/Y (▲1,378,000円/Y)



屋上散水システム

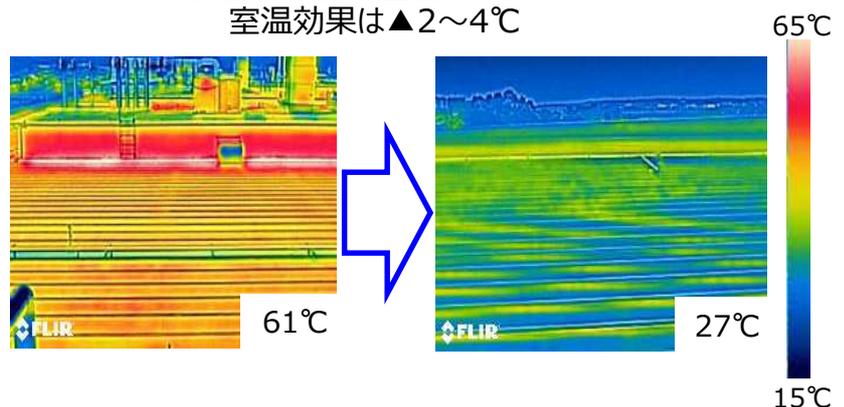
屋上散水システムは、地下水空調システムで使用した地下水を受水槽へ溜め、工場の屋根に散水することで屋根の温度上昇を防ぎ、工場内の気温低減し空調負荷低減へ繋がっています。

その効果は真夏日で ▲2,240kWh/D (▲36,736円/D)、年間では▲205,835Wh/Y (3,396,628円/Y) となります。

スプリンクラーを使用して工場屋根へ満遍なく地下水を散水しています。



真夏日は屋根温度が▲34℃
室温効果は▲2~4℃



編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。本冊子「CSR報告書2023」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2022年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。なお本報告書は、当社ホームページ（<http://www.densotrim.co.jp/>）に掲載しています。

また、当社はCSR活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。（株）デンソーの「統合報告書（<https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/>）」も併せてご覧下さい。

2023年 7月

発行者 **株式会社 デンソートリム**
〒510-1222 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460

発行日 2023年7月31日

お問合せ先 株式会社デンソートリム 人事総務部 総務室
TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050

株式会社 デンソートリム

DENSO TRIM CORPORATION



生産地の環境・健康・経済を持続的に守る
バナナペーパーへの印刷で作成しています。
当社はSDGsを意識した誠実な企業行動を
実践していきます。